

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	エントランスリバティ伊丹教室		
○保護者評価実施期間	11月25日2024年		～ 12月14日2024年
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 60
○従業者評価実施期間	11月25日2024年		～ 12月6日2024年
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	12月28日2024年		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士・心理師が常勤で勤務している 専門職によるきめ細かい支援を行っている	専門職を中心に定期的に事業所内でケース会議・ミーティングを行い、常勤・非常勤職員で利用者様の状況を情報共有し、日々の支援に繋げている	専門職を中心としたプログラム作成を今後も継続し、専門職以外の職員も療育スキルを上げていく
2	今回実施したアンケートで、満足して通っていただいているという回答が100%に近かった	日々行っている支援について、保護者様に面談・懇談会を通して説明を行っている 活動の様子を写真や動画に撮り、保護者様の送迎時にその日に行った活動内容や目的について、画像や動画を見てもらいながら伝えている	引き続き、保護者様に分かりやすい説明を工夫していく
3	感覚統合器具を使用して作業療法士による個別療育を行っている	希望される利用者様には最低でも月に1回の個別療育の時間を確保し、専門職の評価に基づいた支援を行っている	理学療法士を採用の予定がある(2025年4月) 作業療法士・理学療法士を中心とした粗大運動・微細運動の向上を目指すプログラムを強化していく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様の送迎時、人の出入りが多くなる時間帯に安全の確保が十分に行えているか、課題を感じている	建物の構造上、通路や階段の広さが十分でなく、通行がしにくいことがある	部屋の出入りの際は、利用者さんの安全確保の為に職員が付き添っている 階段で人が密集しないよう、保護者様の送迎時には室内で待ってもらえるようにしている 利用者様の安全が確保できるよう、職員で連携して体制を強化する
2	地域連携、ご家族様・ご兄弟が参加できる交流の機会をあまり提供できていない 保護者様同士が交流したり子育ての悩みを相談できる場を提供できた機会が少なかった	職員の異動等があり、実施できた回数が少なかった	年間でスケジュールを組み、実施していく ペアレントトレーニングの実施に向けて準備を進めている
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	エントランスリパティ伊丹教室					公表日	2025年1月21日	
						利用児童数	2024年 12月 14日	回収数 60
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	54	5		1	広く使われている 活動のスペースはあると思う	部屋を効率よく使用し安全に活動が行えるよう、今後も職員同士が連携していく	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	59	1			たくさんの先生で見てくれると思う 職員が多いと感じる	加算の職員も配置している為、今後もきめ細やかな支援を続けていく	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	47	8	2	3	建物の構造上仕方ないが階段が急で怖い 判断が出来ないので「分からない」を選んだ 視覚支援が施されている	通路・階段が狭く通行の際に注意が必要なため、保護者様の送迎の時間帯には室内に入ってもらったり職員が声掛けを行うようにしている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	57	3			いつも綺麗にされている	整理整頓・衛生管理を徹底していく	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	59	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	57	2		1			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	58	1		1	計画作成時期など保護者の聞き取りがあって良い	今後も保護者様への聞き取りを丁寧に行い、個別支援計画書に反映していく	
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	56	2		2			
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	59			1			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	56	4			様々なイベントも取り組んでいるため楽しめている	季節のイベントや運動イベントを随時企画し案内を続けていく	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	7	17	27	今までなかったと思う	今後、実施できるよう企画していく	
保護者への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	58	1		1	契約時に説明があった	契約時に説明を行っているが、疑問や質問に都度対応する	
	13 「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	59			1	毎回示されている	利用者様全員に丁寧な説明を続けていく	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	46	7		7	説明会や懇談会があり勉強になったため機会があれば参加したい あったかもしれないが参加できていない	保護者様向けの研修会開催の際には、ご案内・周知を徹底する	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	60				毎回お迎え時に話す時間がある	ご利用の度に保護者様とお子様の日々の様子を共有する	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	58	1		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	55	2		3		職員への研修を続ける 日々の支援について、打ち合わせ・フィードバックを念入りに行う	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	13	4	15	一人っ子なので分からない 本人参加の活動はよく行われている 兄弟参加のものは行きたがることもあるので、あれば参加させたい なかったように思うが分からない	ご本人だけでなく、ご兄弟も一緒に楽しめるイベントを企画していく	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	56	3		1	対面や電話で迅速に対処してくれる	保護者様に気軽に声を掛けてもらえるよう、心掛けている 相談などお声掛けがあった際には、迅速に対応し面談等の機会を設ける	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	58	2					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	44	5	1	10			
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	56				4		
非常時等の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	49	3		8			
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	42	3	1	14	定期的に避難訓練を一緒にしてくれて安心できる	災害に備え、定期的に避難訓練を行う	
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	49	7		4			
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	51	2	2	5	経験がないため分からない	職員全員がマニュアルに沿って対応できるように日頃から対応方法について共有・理解を進める	
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	58	2					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	55	5			めっちゃ楽しいみたいです	今後も楽しく参加していただきながら学びに繋がられるよう、職員一同スキルアップしていきます	
	29 事業所の支援に満足していますか。	59	1					



公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年1月21日				
エントランスリパティ伊丹教室						
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	3	放デイと児発の利用者さんが重ならないように利用時間帯を分けて調整している パーテーションを使用して室内を仕切っている	空間を上手く仕切り、効率よく部屋を使えるよう今後も工夫していく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2		体調不良の職員が出れば急な対応が難しいこともある為、社内で応援体制ができるよう検討していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	3		クールダウンのスペースを作った
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	11		出勤日数が少ない職員も参画できるように毎日打ち合わせとフィードバックを行いながら記録を書いている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		定期的な研修を実施している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	11			
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11			
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		計画書を見直しながら打ち合わせ・フィードバックを行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2		
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		職員でアイデアを出し合い、月によって変化をつけている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成し、支援が行われているか。	11			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1		出勤日数が少ない職員や退勤時間によっては、当日のうちにできないこともある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11			
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	11			
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	3	保育所等訪問支援を行い、現場の職員と学校・家庭の情報を共有している	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	3		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	9		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	2	送迎時に保護者様とお話できる時間を作っている。連絡帳でのやりとりを行っている	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	3		個別面談にて実施している 集団でのペアレントトレーニングを企画していく
	32	【児童事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	4		
	33	【児童事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	3		
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【児発センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【放デイのみ】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7	4		
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	6		
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	3		
	40	【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	6		
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先を考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		作成時には保護者様と話す時間を作っている	
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11			
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		面談・懇談会を定期的に行っている	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	1		保護者様同士の集まる機会は設けているが、兄弟同士の交流の機会を作れていない
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		相談・苦情・申し入れがあった際には、早急に職員に聞き取りを行い、事実確認して保護者様に報告をしている	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1	HP・インスタグラムを活用している	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	8		
	非常時の対応	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		常に保護者様とコミュニケーションを取るよう心がけており、面談の機会を設けている
52		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		マニュアル・指針を整備し、職員間で共有している。定期的に訓練を行っている	
53		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		マニュアル・指針を整備し、定期的な避難訓練を行っている	
54		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		服薬の有無・てんかん発作等、利用開始時に聞き取りを行っている	
55		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	2		保護者への聞き取りで対応している
56		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			
57		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			
58		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		職員全員で共有し、再発防止の為にミーティングを行っている	
59		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		虐待防止委員会を定期的に開催し、職員の意識向上を行っている	
60		どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前にかみしめ説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11		重要事項説明書に記載しており、契約時に保護者様に説明を行っている	